

事故防止 274号
2020年3月19日

関係団体 殿

公益財団法人日本医療機能評価機構
医療事故情報収集等事業
執行理事 後 信
(公印省略)

医療事故情報収集等事業 第60回報告書の送付について

平素より本財団の実施する事業にご理解、ご協力をいただき、感謝申し上げます。

本財団においては、医療事故情報収集等事業の円滑な実施に努めているところです。

この度、医療事故情報収集等事業 第60回報告書を取りまとめましたので送付申し上げます。ご査収くださいますようお願い申し上げます。

本報告書は、公表後、本事業のホームページに掲載いたします
(<http://www.med-safe.jp/>)。

なお、本報告書は3月24日(火)に公表の予定としており、それまでの間は非公表の取り扱いとなります。公表までの間、取り扱いにはご注意ください
ますようお願い申し上げます。

今後とも本事業の一層の推進に努めてまいりますので、何卒ご理解、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

医療事故情報収集等事業 第60回報告書のご案内

1. 集計報告（対象：2019年10月～12月）

（1）医療事故情報収集・分析・提供事業

表1 報告件数及び報告医療機関数

	2019年			合計
	10月	11月	12月	
報告義務対象医療機関による報告件数	362	278	426	1,066
参加登録申請医療機関による報告件数	57	24	46	127
報告義務対象医療機関数	274	274	274	—
参加登録申請医療機関数	810	811	812	—

（第60回報告書 16頁参照）

表2 事故の概要

事故の概要	2019年10月～12月	
	件数	%
薬剤	83	7.8
輸血	2	0.2
治療・処置	301	28.2
医療機器等	32	3.0
ドレーン・チューブ	69	6.5
検査	68	6.4
療養上の世話	354	33.2
その他	157	14.7
合計	1,066	100.0

（第60回報告書 17頁参照）

（2）ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業

1) 参加医療機関数 1,250（事例情報報告参加医療機関数 659施設を含む）

2) 報告件数（第60回報告書 20頁参照）

①発生件数情報報告件数：238,286件

②事例情報報告件数：7,886件

2. 事例の分析

今回、「分析テーマ」で取り上げたテーマは下記の通りです。

- （1）持参薬の処方・指示の誤りに関する事例 【24～43頁参照】
- （2）食事・経管栄養とインスリン投与に関連した事例 【44～55頁参照】
- （3）透析療法時に用いる内シャントが閉塞した事例 【56～68頁参照】

3. 再発・類似事例の分析

これまでに、「分析テーマ」や「医療安全情報」として取り上げた内容の中から再発・類似事例が報告されたテーマを取りまとめています。今回取り上げた再発・類似事例の分析のテーマは下記の通りです。

- （1）入浴介助時の熱傷（医療安全情報No.5）－新生児・乳児－ 【71～77頁参照】
- （2）はさみによるカテーテル・チューブの誤った切断（医療安全情報No.90） 【78～85頁参照】

*詳細につきましては、本事業ホームページ（<http://www.med-safe.jp/>）をご覧ください。